

## 平成26年度 第2回鎌ヶ谷市消防委員会会議録

### 1 議題

- 議案1 平成26年度事務事業進捗状況について
- 議案2 平成27年度予算(案)の概要及び事務事業について
- 報告事項1 女性消防団について
- 報告事項2 その他

### 2 開催日時

平成27年2月3日(火曜日) 10時00分から11時30分

### 3 開催場所

消防本部3階会議室

### 4 出席者

- |         |                  |                 |
|---------|------------------|-----------------|
| (1) 委員  | 鈴木定夫委員(委員長)      | 長瀬正久委員(副委員長)    |
|         | 廣部信隆委員           | 阿部万里亜委員         |
|         | 若槻恵子委員           | 山田静雄委員          |
| (2) 事務局 | 渋谷誠幸消防団長         | 川島正二郎消防長        |
|         | 皆川宏幸次長(事) 消防総務課長 | 鈴木信彦副参事(事) 予防課長 |
|         | 松本禎久警防課長         | 相川 昇予防課主幹       |
|         | 松下晃通庶務係長         | 湯浅貴朗主任消防主事      |

### 5 傍聴者 なし

### 6 会議の公開 非公開について 公開

## 7 発言の要旨

- 消防総務課長 委員会条例第5条による会議成立を報告、傍聴の申し出がなかったことを報告した。  
平成26年度第2回消防委員会会議開会を宣言し、鈴木委員長に挨拶を求めた。
- 鈴木委員長 挨拶
- 消防団長 挨拶
- 消防長 挨拶
- 消防総務課長 委員会条例第5条の定めにより委員長が議長を務める事を伝えた。また、会議録署名人に山田委員と若槻委員の2名を選出し、任期中は継続になることを伝えた。  
議長へ進行をお願いした。
- 鈴木議長 議案1平成26年度事務事業進捗状況について説明を求めた。
- 事務局 議案1平成26年度事務事業進捗状況について、職員研修、火災予防、救急救命、消防団、施設等について説明した。
- 鈴木議長 議案2平成27年度予算(案)の概要及び事務事業について説明を求めた。
- 事務局 議案2平成27年度予算(案)の概要及び事務事業について、常備消防費として一般人件費、消防事務に要する経費、消防庁舎の管理運営に要する経費、職員研修に要する経費、予防業務に要する経費、警防業務に要する経費、大規模災害応援に要する経費、非常備消防費として消防団運営に要する経費、消防施設費として消防車両更新事業、くぬぎ山消防署建替事業、消防本部庁舎建替事業の内容を説明した。  
なお、平成27年度予算(案)は議会議決前の要求額であり、決定されていないことを申し添えた。
- 予防課長 最近3カ年の火災状況について説明した。
- 警防課長 最近3カ年の救急出動件数、平成26年傷病程度別搬送人数の説明をした。
- 鈴木議長 報告事項について説明を求めた。
- 警防課長 報告事項1女性消防団について概要、条例改正の趣旨、採用スケジュール、募集要領の説明をした。
- 鈴木議長 各委員に質問を求めた。
- 長瀬委員 資料9ページの消防団装備品整備事業は、新規事業と説明がありましたが、その目的や今後の計画などについてお聞かせください。
- 警防課長 はじめに、消防団装備品整備事業の目的についてでございますが「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の施行を受け、鎌ヶ谷市も消防団を充実強化することを目的として、昨年8月に計画を策定いたしました。  
計画の柱は、①加入促進、②装備品の充実、③処遇改善でございます。この計画に基づき、安全性や機能性の高い装備品を導入し、団員の安全を守り、より効果的な活動が行えるよう「消防団装備品整備事業」として、計画的に装備品を整備しようとするものでございます。  
次に、今後の計画等についてですが「消防団装備品整備事業」は市の実施計画に位置付けされ、平成27年度から平成31年度までの5カ年で事業を行う予定でございます。  
平成27年度は、新しい活動服を全団員に導入する予定となっております。

いて、これは、国の服制基準が改正され、機能性とデザイン性の向上が図られ、団員と職員が識別できるよう背中に「鎌ヶ谷市消防団」と表示されたものでございます。

平成28年度は、現場活動用の切れにくい強固な耐切創手袋、また活動時の通信手段としてトランシーバーの追加導入を予定し、平成29年度以降は、防災性と機能性の高い防火衣を計画的に更新していく予定でございます。

若槻委員

本日会議を開催している新庁舎とくぬぎ山消防署新庁舎の運用にあたっての今後の予定と懸念しているところなどあれば教えてください。

消防総務課長

私からは、新庁舎の運用についてお答えいたします。

お尋ねは、新庁舎の運用に当たって懸念しているところについてございました。

新庁舎の機能移転後、直近の懸念事項といたしましては、旧庁舎の取り壊し工事が引き続き行われますので、消防業務に影響の無いよう調整しながら進めていきたいと考えてございます。

継続的な懸念事項でございますが、消防本部でございますが、消防訓練での掛け声及び消防車両の出入りに伴い、近隣住民との騒音トラブル及び交通事故等の発生が懸念されるところでございます。このことにつきましては、日頃から親しまれ、信頼される消防としての良好な近隣関係を築いていくことに努めてまいりますとともに、車両の運行には、徐行等細心の注意を行い、トラブル防止に万全な対応で臨んでまいります。

くぬぎ山消防署でございますが、消防車両出入りの敷地前は、国道464号歩道として、西部小学校の通学路となっておりますことから、児童との交通事故の発生が懸念されるものでございます。車両の運行は、徐行等細心の注意を行い、事故防止に万全な対応で臨んでまいります。

阿部委員

資料11ページの最近3カ年の火災状況が記載されておりますが、建物火災の内、カッコ内の住宅用火災警報器により、被害を最小限に抑えられた火災が平成24年、平成26年に2件ございますが、どのような内容で最小限に抑えられたのでしょうかお聞かせください。

予防課長

住宅用火災警報器により被害を最小限に抑えられた火災2件について、お答えいたします。

平成24年の建物火災につきましては、軽量鉄骨造2階建て、一般住宅からの出火でございます。

出火元となりました建物の隣に住む主婦が外出しようとして玄関先に出たところ、住宅用火災警報器の鳴動に気づき、隣の建物を見たところ、窓の隙間から煙が出ているのを確認したため、すぐに火災だと判断し、119番通報したケースです。

この火災では、延べ面積112平方メートルのうち、床面積15平方メートルの焼損、部分焼で消し止めた火災でございます。

平成26年の建物火災は、木造2階建ての一般住宅からの出火で

ございます。

午後3時に息子さんが出勤する際、母親が起きて送り出した後、息子さんが吸っていた、たばこが灰皿にあったので、その吸殻を紙などが入っているゴミ袋に捨てて、再度2階の寝室で就寝しましたが、その直後に住宅用火災警報器の鳴動に気づき、2階の廊下に出ると煙が充満していたため、すぐに1階の台所に駆け付けたところ、先ほど捨てた、ゴミ袋周辺から炎が出ているのを見つけ、自宅の消火器で消火したものでございます。

この火災では、延べ面積148平方メートルのうち、床面積1.5平方メートルの部分焼と収容物の焼損で消し止めたケースでございます。

廣部委員

資料2ページの2、(5)の火災予防イベントの開催として「きらり消防フェスタ」を開催していますが、内容についてご説明願います。

予防課長

きらり消防フェスタは、火災や災害に対する市民の意識向上を図るため、平成26年10月25日(土)にきらり鎌ヶ谷市民会館のきらりホールを会場に開催しました。

具体的な内容を申し上げますと5つございます。

1つ目は、昨年、小中学生を対象に募集しました「火災予防ポスター」の優秀作品表彰式を行いました。応募数863点の中から選ばれました小学生1点、中学生1点の優秀賞の2人に対し、市長から伝達したものでございます。

2つ目は、鎌ヶ谷警察署の協力により、警察職員による防犯や防火を交えたコントを行っていただきました。

警察職員のお2人は「コントユニオン通り」の愛称で、自治会などのイベントに多数出演されています。当日は、消火器を題材にしたコントを初めて行っていただきました。

3つ目は、鎌ヶ谷市幼年消防クラブを代表して、南初富保育園のクラブ員、5歳児40人によるボディーパーカッションや歌を披露していただきました。

4つ目は、まなびい大学の主催講座でもあります消防セミナーを「防災講演会」として行いました。講師は、防災関連のテレビ番組に多数出演されている 防災システム研究所 所長の山村武彦氏をお招きし「互近助と防災隣組で支え合う～ずっと住みつづけたいまちづくり～」と題して行いました。

5つ目は、消防職員と市民との協働で組織されている、鎌ヶ谷ファイアーフレンズの吹奏楽の演奏で「お願いジュウケーキ」を含む7曲を演奏していただきました。

開催時間は、午後1時から4時35分までの3時間35分間開催し、来場者は約300人でございます。

山田委員

消防本部庁舎建替事業、くぬぎ山消防署庁舎建替事業にあたってのコンセプトや、施設の特徴についてご説明願います。

消防総務課長

庁舎建替事業についてお答えいたします。

まず、消防本部庁舎のコンセプトでございますが、主に3点ござ

います。

1点目は災害対応に当たるため、災害による電力供給の遮断に備え、自然エネルギーを有効活用した太陽光発電設備及び省電力のLED照明を整備し、環境に配慮した設計となっております。

2点目は敷地の有効活用を図り、消防訓練施設が併設されてございます。

3点目は感染防止に配慮した個室仮眠室を設置してございます。

次に、くぬぎ山消防署のコンセプトといたしまして、主に3点でございます。

1点目はくぬぎ山消防署は、24時間365日災害対応に当たりますことから、災害による電力供給の遮断に備え、太陽光発電設備が設置されてございます。

2点目は救急活動に伴う感染防止のため救急滅菌室が設置されてございます。

3点目は感染防止に配慮した個室仮眠室を設置してございます。

## 7 会議録署名人の署名

以上会議経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成27年5月1日

氏名 山田 静雄

氏名 若槻 恵子